



〒870-0943 大分県大分市片島 83-7

<https://www.oita-kodomo.jp/>

(代表) TEL097-567-0050



☆..☆..☆..☆..☆.. とびひ(伝染性膿痂疹) ~とびひとは?主に2種類!!~ ☆..☆..☆..☆..☆..

夏になると、あせもや虫さされ、湿疹などが多くなります。これらをひっかいたり、転んで出来た傷に二次感染を起こしたりして『とびひ』になります。接触感染によって火事の飛び火のようにあっという間に広がることから『とびひ』と言われるようになりました。『とびひ』は、皮膚表面のバリア機能が低下しているとかかりやすいので、アトピー性皮膚炎の方や虫刺されをよくひっかくお子さんにかかりやすいです。日頃から、皮膚の保湿に気を配り、爪はのびる前に切りましょう。

種類	すいほうせいのかしん 水疱性膿痂疹 (水ぶくれタイプ)	かひせいのかしん 痂皮性膿痂疹 (かさぶたタイプ)
原因菌	黄色ブドウ球菌	溶連菌の一種 (A群B溶血性連鎖球菌)
発症の仕方	虫さされ、あせも、擦り傷の部位をひっかいて感染を起こすことが多い	アトピー性皮膚炎などに合併することが多く、急速に発症する
特徴	虫刺されやあせもを掻き、ことから始まる ことが多い 水ぶくれができ、破れてただれる 水ぶくれの液によって感染が広がる とびひの多くはこのタイプ	小さな膿疱が多数でき、それが破れてただれ、かさぶたができる 患部に腫れや痛みをとまなうことがある のどの痛みや発熱を伴うこともある 水疱性より炎症が強いことが多い
時期	夏季	季節を問わない
年齢	乳幼児、小児	年齢を問わない (大人にも起こる)



おうちでできる予防策

- 皮膚を清潔に保ち、入浴後は保湿をする。
※湯船には浸からず、シャワーの方が好ましい。
- 手洗いの徹底
- 爪を短く切り、かきむしって皮膚に傷つけたりしないようにする。



治療

軽症ならば市販のかゆみ止め外用。赤みや痒みが強い場合はステロイド外用薬が必要。症状が強いときは抗ヒスタミン剤内服。痒くてかきむしって、皮下組織に細菌感染を起こして蜂窩織炎に移行すると、より膨張して発赤も強くなり、痛みが出現し、発熱することもあり抗生物質が必要になることがある。

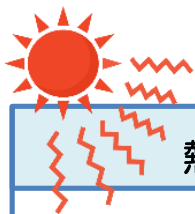


~保育園や学校での過ごし方~

他の園児、学童にうつす可能性があるため、病変部をガーゼや包帯できちんと覆っていれば登校・登園することができます。しかし、病変が多発しているときや、広範囲の場合は休ませる方が良いでしょう。プールや水泳は自分の病変を悪化させる可能性や、他人にうつす恐れがあるため完全に治るまでは控えましょう。



《 熱中症の症状と応急処置 》



熱中症とは

当院でも、梅雨あたりから熱中症疑いの患者様が増えてきました。熱中症は、高温多湿な環境に私達の身体が適応できないことで生じるさまざまな症状の総称です。いつでもどこでもだれでも条件次第で熱中症にかかる危険性があります。暑さを避け、こまめに水分補給をしましょう！



熱中症を引き起こす主な3要素

- ① 環境 気温の高さ・湿度の高さ・風の弱さ
日差しの強さ・急な気温上昇 など
- ② からだ 寝不足や二日酔いなどの体調不良
糖尿病や精神疾患といった持病
暑さに慣れていない
乳幼児・高齢者・肥満の方 など
- ③ 行動 激しい運動・慣れない運動
屋外作業
水分補給できない状況 など



熱中症の主な症状

- 意識の遠のき
- 頭痛や顔のほてり
- めまいや立ちくらみ
- 嘔吐
- 筋肉痛や手足のけいれん
- 集中力低下
- 体のだるさや吐き気
- 呼びかけに反応しない
- 大量の発汗
- まっすぐ歩けない

〈!〉上記のような症状が出たら熱中症にかかっている危険性があります。すぐに応急処置を行い、場合によっては救急車を呼ぶなどして医療機関に連れて行きましょう。

熱中症かな？と思ったら応急処置を！

- ① 涼しい場所へ移動しましょう！
*クーラーが効いた涼しい室内や、エアコンが効いた車内、風通しの良い日陰 など
- ② 衣類を脱がし、体を冷やして体温を下げましょう！
*両側の首筋〈頸動脈〉や脇の下、足の付け根〈鼠径動脈〉などを保冷剤や氷枕で冷やしましょう！水をかけて扇ぐことも有効です。
- ③ 塩分や水分を補給しましょう！

参照：厚生労働省「熱中症予防のために」

<https://www.mhlw.go.jp/content/necchushoyobou.pdf>

：一般財団法人日本気象協会『熱中症ゼロへ』／熱中症について学ぼう「熱中症の予防・対策」

<https://www.netsuzero.jp/learning/le02>



《 ~当院診療時間のご案内~ 》

午前 9:00~12:00

午後 15:00~18:00 (月~金)

14:00~18:00 (土)

乳児健診・予防接種

14:00~17:00 (水曜のみ) 予約制

☆休診日：日曜・祝祭日・年末年始

***ただし急患の方はこの限りではありません。**

お電話なしでご来院ください。

☆付き添いに関するお願い☆

当院では感染症対策として、時間外の入院患者様の面会や付添い、また外来診察時の付添いは、

『患者さま1名につき、付添い1名のみ』

と、お願いしています。

お子様の付添いがお一人で難しい場合は、スタッフにお申し出下さい。

ご理解の上、ご協力をお願いします。

【 よくあるご質問 Q&A 】

Q. 入院時の持ち物についておしえて下さい

- A.
- ・母子健康手帳
 - ・粉ミルク、哺乳瓶、哺乳瓶洗浄セット
 - ・内服薬の薬
 - ・紙おむつ
 - ・バスタオル、タオル
 - ・おしり拭き
 - ・着替え (パジャマ、下着)
 - ・ティッシュペーパー
 - ・洗面用具
 - ・踵のあるはきもの (ホテイルブ、シャワー、リンス、歯ブラシセット、くし)

☆使い慣れた物をお持ち頂くと安心です。

*お忘れ物や急なご入り用の際は、スタッフにご相談下さい。その他、入院手続きに必要な印鑑(認め印)やお気に入りのおもちゃ等がありましたら、お持ち下さい(^_^)当院HPでもご案内しています。

<https://www.oita-kodomo.jp/hospitalization/index.html>